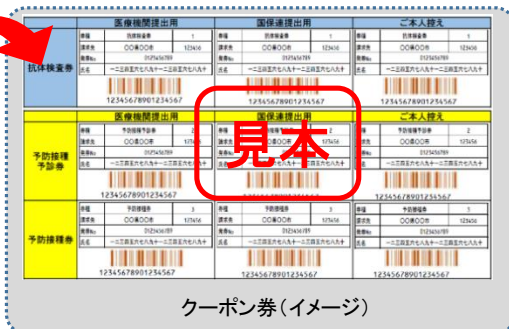
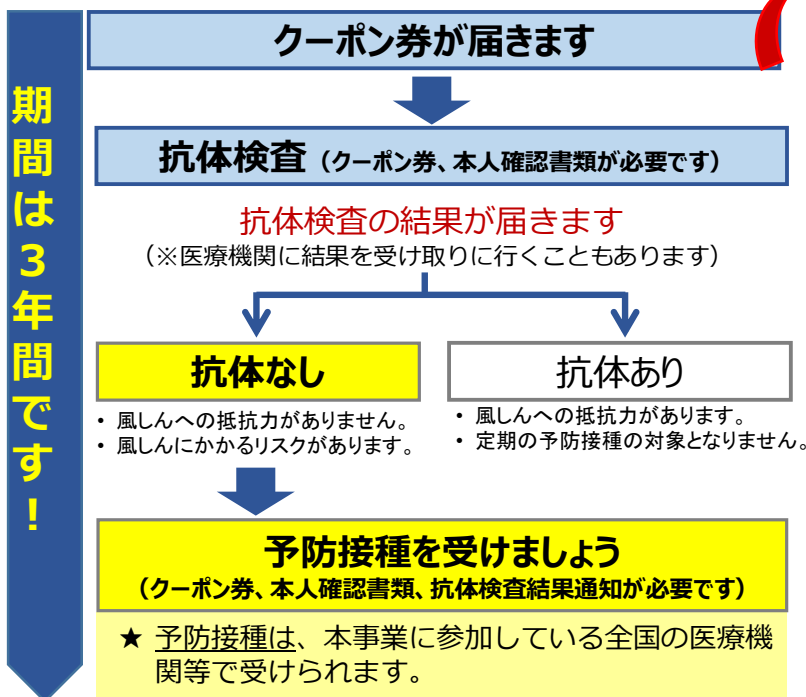


まだ、抗体検査を受けていない皆様へ(既に検査を受けている方へも案内している場合がありますがご容赦願います)

2025年3月31日までの3年間に限り、 風しん抗体検査・予防接種を公費で受けられます。

- ▶ 風しんの予防接種は、現在、予防接種法に基づき公的に行われています。しかし、公的な接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、**抗体保有率が他の世代に比べて低く(約80%)**なっています。
- ▶ そのため、2025年3月31日までの期間に限り、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を風しんの定期接種※の対象者とし、クーポン券をお届けします。
※予防接種法に基づく定期の予防接種※**クーポン券の有効期限は2024年3月末までとなっています。**
- ▶ 対象者の方には、**お届けするクーポン券を利用して、まず抗体検査**を受けていただき、抗体検査の結果、十分な量の抗体がない方は、定期接種の対象となります。

～抗体検査・予防接種までの流れ～



医療機関や健診会場の窓口でクーポン券を提示すれば、風しんの抗体検査や風しんの予防接種を受けられます。

- ★ 抗体検査は、
- ① 事業所健診や特定健診の機会に、その場で受けられます※。
※勤務先の企業(事業所健診の方)や市区町村(特定健診の方)にお問い合わせください。
 - ② 本事業に参加している全国の医療機関等で受けられます。
- ★ 予防接種は、当日の体調や基礎疾患等で受けられない可能性もあります。また、接種後、副反応が発生するおそれもありますので、必ず医師と相談してください。

R5年4月から受診可能な町内医療機関 ※休日当番時は不可

医療機関名	電話番号	抗体検査	予防接種
田中医院	73-2913	要予約 (前日まで)	要予約 (前日まで)
玉川医院	75-2780	予約不要 火・水・木・金: 17時まで、土: 午前のみ	要予約 (2日前まで)
こばやし内科クリニック	73-3356	要予約 (3日前まで)	要予約 (3日前まで)
美幌療育病院	73-3145	要予約 水・木: 9:00~11:00	要予約(水・木:9時~11時)
美幌町立 国民健康保険病院	73-4111	予約不要	要予約

★ 町外の抗体検査・予防接種を受けられる医療機関等のリストは、厚労省HPに掲載されています。

裏面に続きます

お問合せ先
美幌町役場 福祉部保健福祉課 健康推進グループ 77-6544 77-6545(健康推進直通)

Q どうして風しんの追加的対策を実施しているのですか？

A 風しんは、感染者の飛まつ（唾液のしぶき）などによって他の人にうつる、感染力が強い感染症です。妊娠早期の妊婦が風しんに感染すると、出生児が先天性風しん症候群（眼や耳、心臓に障害が出ること）になる可能性があります。

大人になって感染すると一般的に重症になりやすいことや、妊娠中の配偶者(妻)あるいは、パートナー、職場の同僚などにうつすことで、生まれてくる赤ちゃんが先天性風しん症候群と診断される可能性が生じます。自身の身を守り、家族や周りの人への感染を予防し、子どもたちを先天性風しん症候群から守るためには、社会全体が免疫を持つことが重要です。

●風しんとは

風しんウイルスの飛沫感染によっておこる急性の発疹性感染症で、春先から初夏にかけて流行することが知られています。潜伏期間は2～3週間で、軽いカゼ症状で始まり、発疹、発熱、後頸部リンパ節腫脹等の主症状のほか、結膜充血も見られます。主症状は、3日間程度で治るため「三日ばしか」とも呼ばれています。

従来、集団生活に入る1～9歳（1～4歳児、小学校の低学年）頃に多く発生を見ていましたが、近年は日本の予防接種の定期接種対象になっていなかった20～40代の男性の発症が多くなっています。

風しんの症状は、小さな子どもの場合、それほど重篤にはなりにくいのですが、患者になった方で2,000人～5,000人に1人ぐらいの割合で血小板減少性紫斑病や脳炎等の重篤な合併症を発症することがあるとされています。

大人になってからかかると一般に重症になりやすく、発熱や発疹の期間が子どもと比較して長く、関節痛がひどいことが多いとされ、場合によっては1週間以上、仕事を休まなければならない場合もあります。

●風しん予防接種について

風しん予防接種は、弱毒化した風しんウイルス含む「生ワクチン」です。

そのため、副反応として、注射部位の腫れのほか、風しんに罹患した時と同じような発熱、発疹、関節痛、リンパ節腫脹等を認めることがあります。重大な副反応として、アナフィラキシー様症状服を従来、集団生活に入る1～9歳（1～4歳児、小学校の低学年）頃に多く発生を見ていましたが、近年は日本の予防接種の定期接種対象になっていなかった20～40代の男性の発症が多くなっています。

●予防接種が受けられない方

- (1) 明らかに発熱のある方
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかの方
- (3) その他、予防接種を受けることが不適当な状態にあると医師に判断された方

●予防接種を受ける際に、かかりつけ医とよく相談しなくてはならない方

- (1) 心臓血管系疾患、腎臓病、肝臓病、血液疾患等の基礎疾患を有する方
- (2) 今までにけいれんを起こしたことのある方
- (3) 以前に免疫不全の診断がなされている方、及び近親方に先天性免疫不全症の方がいる方

●予防接種を受けた後の注意事項

- (1) 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- (2) 副反応の多くは、接種後24時間以内に出現するため、特にこの間の体調に注意しましょう。
- (3) 入浴は差し支えありませんが、わざと注射した部位をこすことはやめましょう。
- (4) 接種当日はいつもどおりの生活をしましょう。激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。